

2020 年度 障がい者スポーツ特別研修会開催要項
「地域（市町村）にインクルーシブなスポーツ活動拠点を作ろう?!」

1 趣 旨

これまでの研修において、障がい者スポーツを活用した地域連携による共生社会づくりをテーマに様々な提言を行ってきた。しかし、コロナ禍により、パラリンピックの開催延期に代表されるように、関係機関や各団体においては、事業計画等の見直しが迫られている。

現在は、新型コロナウイルスの感染拡大の防止が最優先事項であることは間違いないが、私たちが目指すゴールは「共生社会の実現」であり、普遍的なものである。そこで、あらためて現状と課題を整理し、インクルーシブな視点や先進的な事例からお住まいの市町村において、障がいの有無に関わらず、誰もが参加しやすいスポーツ活動の拠点作りについて考える機会としたい。

2 主 催 一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会

3 共 催 一般社団法人コ・イノベーション研究所、岩手県障がい者スポーツ指導者協議会

4 後 援 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、岩手県教育委員会
 公益財団法人岩手県体育協会、岩手県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
 岩手県スポーツ推進委員協議会、岩手県特別支援学校連絡協議会
 NPO 法人岩手県レクリエーション協会、一般社団法人岩手県理学療法士会
 一般社団法人岩手県作業療法士会、いわて生涯スポーツ推進ネットワーク
 岩手県障がい者社会参加推進センター（以上、予定団体）

5 実施概要

(1) 日時：令和3年2月21日（日）10：00～15：40（受付9：30～）

(2) 会場：ふれあいランド岩手・ふれあいホール（1階）

〒020-0831 盛岡市三本柳 8-1-3 / TEL 019-637-1000（総合案内）

(3) 日程表：当日は Youtube でライブ配信予定！（以下、太枠部分のみ。パネルディスカッションを除く）

9:30 10:00 10:10 11:00 11:50 13:00 13:30 13:50 14:10 14:20 15:30 15:40

受付	開 会 行 事	基調講演 1	基調講演 2	休 憩	話 題 提 供 1	話 題 提 供 2	話 題 提 供 3	休 憩	パ ネ ル デ ィ ス カ ッ シ ョ ン	閉 会 行 事
----	------------------	--------	--------	--------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	--------	---	------------------

(4) 定 員 50 名程度（受講料：無料）

6 参加対象者

- (1) 教育関係者、(2) 障がい者スポーツ指導員、(3) 福祉サービス事業所等 関係者
- (4) 各市町村体育協会関係者、(5) 各市町村スポーツ推進委員
- (6) 総合型地域スポーツクラブ関係者、(7) リハビリ関係職員、(8) その他

7 申込方法 別紙申込書により、郵送・FAX・Eメール等によりお申込みください。

(1) 申込締切 令和3年2月16日(火)

(2) 弁当希望 申込書該当欄にご記載ください / 1 個 650 円（お茶付・税込）

8 申込・問合せ先

（一社）岩手県障がい者スポーツ協会（担当：三浦、小坂）

〒020-0831 盛岡市三本柳 8-1-3 ふれあいランド岩手内

TEL 019-637-5055 / FAX 019-637-7626 / E-mail : t-miura@iwate-adaptive.or.jp

9 内容

(1) 基調講演1 (10:10~11:00) / 話題提供3 (13:50~14:10)

①基調講演テーマ:「スポーツ指導員の視野を広げるセラピューテック・レクリエーションとは?」

話題提供3:「インクルージョン先進事例紹介~トロント・バラエティビレッジについて」

②講師: テンプル大学公衆衛生学部社会行動科学科 博士研究員 ながた しんいち 永田 真一 さん



筑波大学在籍時、2003年~2008年までバラエティクラブジャパン等にて車いすスポーツキャンプや障がい者スポーツ・レクリエーションの活動に携わる。2008年より東京都障害者スポーツ協会に勤務。2012年に渡米し、インディアナ大学大学院等にて、レクリエーション療法や発達障がい者のスポーツ、障がい者スキーインストラクターなど広い分野に渡り活躍。日本では数少ないCTRS (Certified Therapeutic Recreation Specialist) の資格取得者である。学位は余暇行動学で数々の研究論文を執筆している。現在はテンプル大学博士研究員。また、複数の外国語が堪能であり、車いすバスケットボールや車いすラグビー等、日本代表チームの海外遠征では通訳を務めている。

(2) 基調講演2 (11:10~12:00) / ※カナダからのリモート参加です!

①基調講演テーマ:「パラリンピック教育のあり方~障害の社会モデルと共生社会の実現」

②講師: 1998長野パラリンピック冬季大会金メダリスト ませそん みき マセソン 美季 さん



1973年、東京都出身。大学時代の交通事故で脊髄を損傷し、車椅子生活となる。1998長野パラリンピック冬季競技大会、アイススレッジスピードレースに出場、1500mでは世界記録更新。金3、銀1を獲得したパラリンピアン。カナダ在住、二児の母。選手生活引退後は、スポーツと教育の力を活用しながら、共生社会の構築を目指した活動に従事。国連世界障害者デーの式典でオープニングのスピーチを行ったり、国連人権理事会に登壇したりするなど、国際的な舞台でも活躍。主な役職は日本財団パラリンピックサポートセンタープロジェクトマネージャー、国際パラリンピック委員会教育委員会委員、日本パラリンピック委員会運営委員 他、多くの役職を担っている。

(3) 話題提供1 (13:00~13:30)

①テーマ「わが国の障がい者スポーツの現状と課題」

②講師: (公財) 笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所 政策ディレクター おぶち かずなり 小淵 和也 さん



2002年中央大学法学部卒業。単身渡米し、IT企業勤務。帰国後、システムエンジニアを経て、レノボジャパン(株)、楽天(株)でマーケティング分析業務に携わる。日本障がい者スポーツ協会公認中級障がい者スポーツ指導員。知的障害者の移動支援従業者(ガイドヘルパー)として、障害者の余暇支援にも携わる。2011年10月より現職。主な研究研究は、2014年「障害者スポーツ施設に関する研究」、2015年スポーツ庁「地域における障害者スポーツ普及促進事業(障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究)」等多数。

(4) 話題提供2 (13:30~13:50) / パネルディスカッション (14:20~15:30)

①話題提供テーマ「県外から見た岩手県の取組みにおける現状と課題」

ディスカッションテーマ「地域(市町村)にインクルーシブなスポーツ活動拠点を作ろう?!」

②パネリスト: ながた しんいち 永田 真一さん、ませそん みき マセソン 美季さん、おぶち かずなり 小淵 和也 さん

③ファシリテーター: 一般社団法人コ・イノベーション研究所 代表理事 はしもと だいすけ 橋本 大佑 さん



2002年筑波大学卒業。ドイツに渡り、車いすスポーツを通じた障害児・者への導入指導法について学ぶ。2009年に帰国後、スポーツを通じた社会参加の促進をテーマに指導法の開発やインクルーシブスポーツの普及に取り組む。2013年に起業し、2016年から現職。スポーツに加えて共生社会の実現をテーマに「心のバリアフリー」「ユニバーサルデザイン」の推進にも取り組む。現在は、企業研修等でも講演依頼が多い。本日は、話題提供とパネルディスカッションのファシリテーターを務める。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況による事業内容の変更または開催を中止することがあります。